

●経理上手くんα ProⅡ Version:11.906

●経理上手くんαクラウド ProⅡ・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ Version:11.906

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 仕訳入力

①科目名称・枝番名称の検索をカナ 2 文字以上で検索できるように改良しました。

F4 入力設定に「カナ 1 文字で検索する」の機能を追加しています。

※既存プログラムと設定が変わらないように、初期設定はチェック ON にしています。

➤ 分析表集計科目登録

①算式内の科目を自由に調整できるように、[F11 算式展開] の機能と算式展開ダイアログのレイアウトを変更しました。また、上記に伴い、タブリストを帳票と対応している項目ごとに判別しやすくなるように、業務毎にタブを分ける等の対応を行いました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理 d b (VERSION:11.906) の変更点”、“221109 分析表集計科目登録”を参照してください。

❗注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 財務処理 d b (VERSION:11.906) の変更点

## 改良

### I. 導入・更新

#### 1) 名称等転送

- ①2022年9月20日リリース分 (VERSION:11.902) で、「出力用特殊名称」に「共通費配賦額」の追加が行われたため、転送元と転送先で合計名称数に2科目差異が生じるケースがあり、転送先が2科目多いとき、“転送先で拡張し転送元で拡張していない科目または転送元のみ不使用に設定している科目が存在するため、転送できません。”と表示され転送できなくなっていたため、転送元マスターの「出力用特殊名称」に「共通費配賦額」の科目を追加して転送を行えるようにしました。
- ※転送元が「共通費配賦額」あり、転送先が「共通費配賦額」なしの場合は、メッセージは表示せずに転送先に「共通費配賦額」を追加します。

転送元選択		転送先選択	
[21102800] 法人 日本ミホン株式会社		[22010101] 法人 新規作成	
事業期間 : 2年 1月 1日 ~ 2年 12月 31日		事業期間 : 4年 1月 1日	
科目名称数	353	科目名称数	353
合計名称数	412	合計名称数	414
摘要登録数	298	摘要登録数	298
科目対応摘要登録数	222	科目対応摘要登録数	222
仕訳対応摘要登録数	0	仕訳対応摘要登録数	0

転送項目設定	
<input type="checkbox"/> 科目コードのみ	
<input checked="" type="checkbox"/> 科目関係 (名称・科目設定・分析登録内の設定)	

名称等転送

⚠ 転送先で拡張し転送元で拡張していない科目、または転送元のみ不使用に設定している科目が存在するため、転送できません

OK

※2022年9月20日リリース分 (VERSION:11.902) で、「共通費配賦の出力」改良を行いました。が、対応に伴い「科目設定・残高登録」「科目設定」の「出力用特殊名称」に「共通費配賦額」が2科目追加されております。

「共通費配賦額」は部門設定の通常配賦画面を開くと自動で追加されます。

また新規会社登録時は部門入力の設定に関係なく追加されます。

前回の案内時に当項目に関して記載が漏れていましたことをお詫びいたします。

定・変更   科目順変更   出力用特殊名称	定・変更   科目順変更   出力用特殊名称	当期純損失 前月純利益 前日純損失 前期繰越剰余金 前期繰越損失 繰越利益剰余金 当期末処理損失 販売費及び一般管理費 人件費
試算表名称	試算表名称	
共通配賦	共通配賦	
仕入配賦	仕入配賦	
仕入配賦額	仕入配賦額	
経常利益の配賦	経常利益の配賦	
売上高比率	売上高比率	
売上配賦額	売上配賦額	
粗利益比率	粗利益比率	
粗利益配賦額	粗利益配賦額	
人件費比率	人件費比率	
人件費配賦額	人件費配賦額	
任意比率	任意比率	
任意配賦額	任意配賦額	
製造費用の配賦	製造費用の配賦	
売上高比率	売上高比率	
売上配賦額	売上配賦額	
材料費比率	材料費比率	
材料費配賦額	材料費配賦額	
労務費比率	労務費比率	
労務費配賦額	労務費配賦額	
任意比率	任意比率	
任意配賦額	任意配賦額	
配賦後科目	配賦後科目	
配賦後経常利益	配賦後経常利益	
配賦後総製造費用	配賦後総製造費用	
配賦後繰越利益剰余金	配賦後繰越利益剰余金	
科目別配賦	科目別配賦	
売上高比率	売上高比率	

## II. 登録・入力

### 1) 仕訳入力

①科目名称・枝番名称の検索をカナ 2 文字以上で検索できるように改良しました。

F4 入力設定に「カナ 1 文字で検索する」の機能を追加しています。

※既存プログラムと設定が変わらないように、初期設定はチェック ON にしています。

ユーザー単位の設定		
金額の複写 <input checked="" type="checkbox"/> Enterキーで前行の金額を複写する <input type="checkbox"/> Enterキーで前行の金額を複写しない	摘要登録画面タイプ <input checked="" type="checkbox"/> 簡易 摘要登録画面 <input type="checkbox"/> 簡易+枝番 摘要登録画面 <input type="checkbox"/> 詳細 摘要登録画面	残高問合せへの移行設定 <input checked="" type="checkbox"/> 現在仕訳行の日付の月 <input type="checkbox"/> 残高問合せの設定期間
摘要枝番 摘要欄でのコード+Tabキーの動作 <input type="checkbox"/> 枝番のみセットする	伝票形式入力タイプの表示 <input checked="" type="checkbox"/> 表示する	科目・枝番 カナ検索 <input checked="" type="checkbox"/> カナ 1 文字で検索する
		OK      キャンセル

- ・科目欄で カナを入力するごとに、科目選択画面の表示をカナで絞り込んで表示します。カナ 6 文字まで絞り込み可能です。

#### シ を入力

9 諸	<input type="checkbox"/>	17 修 繕 引当金	25 自己株式申込金	33 仕 入 高 7
10 商 品		18 社 債	26 新 株 予 約 権	34 仕 入 高 8
11 仕 掛 品		19 資 本 金	27 仕 入 高 1	35 仕 入 高 9
12 車 両 運搬具		20 新株申込証拠金	28 仕 入 高 2	36 仕 入 値 引
13 *借 地 権/非課		21 資 本 準 備 金	29 仕 入 高 3	37 仕 入 戻 し
14 *出 資 金/不課		22 資本等減少差益	30 仕 入 高 4	38 *賞 与 手 当/不課
15 支 払 手 形		23 自己株処分差額	31 仕 入 高 5	39 車 両 費
16 賞 与 引当金		24 自 己 株 式	32 仕 入 高 6	40 消 耗 品 費

#### シン を入力

9 新株申込証拠金	17	25	33
10 新 株 予 約 権	18	26	34
11 新 聞 図 書 費	19	27	35
12	20	28	36
13	21	29	37
14	22	30	38
15	23	31	39
16	24	32	40

シン まで入力後に BackSpace で 1 文字削除すると、シ までの絞り込みに戻ります。

- ・枝番を表示する際も同様に、カナ入力ごとに、枝番選択の表示を更新します。カナ 4 文字まで絞り込み可能です。

伝票形式・出納帳形式も同様に対応を行っています。

※元帳検索時の仕訳追加・挿入・修正、定型仕訳業務等同じように対応が必要な業務については、後日対応を行います。

### 2) 分析表集計科目登録

①算式内の科目を自由に調整できるように、[F11 算式展開] の機能と算式展開ダイアログのレイアウトを変更しました。

また、上記に伴い、タブリストを帳票と対応している項目ごとに判別しやすくなるように、業務毎にタブを分ける等の対応を行いました。

※当対応と関連する業務への対応容の詳細は、別紙「221109 分析表集計科目登録」を参照ください。

### Ⅲ. 出力（DX・ProⅡのみ）

#### 1) 試算表・分析表 2) 比較経営分析指数表（ProⅡのみ）

①分析表集計科目登録の改良に伴い、分析表集計科目登録で変更された計算式を反映するように対応しました。

※詳細は別紙「221109 分析表集計科目登録」を参照ください。

### Ⅳ. グラフ（ProⅡのみ）

#### 1) 全般

①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。

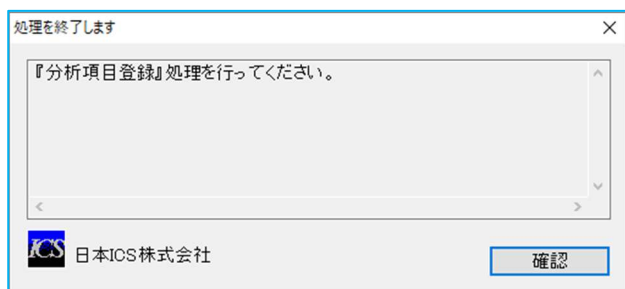
※詳細は別紙「221109 分析表集計科目登録」を参照ください。

《対応業務》

分析項目登録、資産・資本構成図表、損益分岐点図表、科目別比較グラフ、複合比較（5科目）グラフ、複合推移（5科目）グラフ、経営内部透視図表（レーダーチャート）、業種別レーダーチャート、前期対比レーダーチャート

#### 2) 経営内部透視図表（レーダーチャート）

①新規マスターにおいて、分析項目登録業務にて分析項目を作成してから当業務を起動しないと、下記のメッセージが表示されて当業務を行うことができなかったが、当業務起動時に分析項目を作成するようにし、下記のメッセージが表示されないようにしました。



#### 3) 業務別レーダーチャート

#### 4) 前期対比レーダーチャート

①計算で使用していない為、日数欄を削除しました。

	当 期	前 期	前々期
従業員数（人）	0		
× 日 数（日）	0		
売場面積（m <sup>2</sup> ）			

②新規マスターにおいて、分析項目登録業務にて分析項目を作成してから当業務を起動しないと、処理を行うことができなかった為、当業務起動時に分析項目を作成するようにしました。

※詳細は経営内部透視図表（レーダーチャート）の改良内容を参照ください。

## V. 工事台帳（建設上手くんaPro IIのみ）

### 1) 工事登録

①工事毎に「備考」の入力欄を追加しました。

備考の入力は、全角 40 文字（半角 80 文字）まで登録可能です。

請負リストの表示行数を 6 行から 5 行に減らし、予定利益の下に「備考」の入力枠を追加しています。

請負リストの入力可能行数（20 行）は変更していません。

令和	請負日	摘要	消税率	請負金額(内税)	内消費税
令和	04年02月01日		10.0	0	0
令和					

完成予定日は税率の判定に使用します

請負金額合計 0

前ページ [PgUp] 次ページ [PgDn] 登録[F6]

### 印刷／【工事項目一覧表】

施主名の出力位置を契約日の上に移動し、完成工事科目と完成振替部門を 1 段上に移動させ、その下に「備考」のデータを出力します。

工 事 項 目 一 覧 表									
会社名 [22032400] 建設新規									
自 4年 1月 1日 至 4年12月31日									
工事番号	工事名称	現場住所	完成工事科目	備考	工事略称	業者	現場	業者	現場
00000001	工事	543-0001 大阪市天王寺区上本町	0511 完成工事高 1	備考 備考欄は全角 40 文字 (半角80文字)	工事	[ コダ ]	日本 ICSビル	4年 2月 1日	4年 2月 25日
								未成	6,000,000
								4年 6月 30日	

### 2) 工事別管理集計表出力

①工事利益管理表に「備考」を出力できるようにしました。

「コメントを出力する」にチェックを付けると全角 10 文字に制限されます。

工事別管理集計表出力

⚠️ コメントを出力するため、備考の出力は全角10文字までに制限されます。処理を継続しますか？

入金	現金		
	手形		
	相殺		
	入金合計		
	未収		
備考		備考 備考欄は全角 40 文字 (半角80文字)	

入金	現金		
	手形		
	相殺		
	入金合計		
	未収		
備考		備考 備考欄は全角 40 文字	
コメント欄		コメント文字	

## VI. 銀行CSV取込

### 1) 銀行CSV取込

- ① ゆうちょ Biz ダイレクトの入出金明細照会でダウンロードしたCSVのように、入出金区分が「受入／払出」になっているデータを取込できるように対応しました。  
入出金区分が「受入」は「入金」、「払出」は「出金」に取り込みます。

ゆうちょ Biz ダイレクト入出金明細照会結果 CSV のファイル仕様  
取引日／入出金区分／取引内容／送金人名等／受入明細番号／取扱口数／取引金額／現在（貸付）高／EDI 情報等

金融機関登録の項目登録

区分は「入金：入金 出金：支払（出金）」を選択してください。

日付	区分	CSV摘要
西暦 yyyymmdd(全区切文字,-)	入金:入金 出金:支払(出金)	CSV摘要1

- ② 日付が昇順になっていないCSVを昇順で取込できるように対応しました。  
「日付昇順で取り込む」にチェックを付けると昇順で取り込みます。

No.	銀行名称	支店名称	種類	口座番号	科目名	パターン名称
1	ゆうちょ	一九	普通	0000385	普通 預金	6

日付昇順で取り込む

取込

## Ⅶ. レジデータ取込/AirREGI インポート

インポートファイル  
 参照  
 内容表示

部門 : [0001]本店  
 売上科目 : 売上高 1 校番 :

項目設定

AirREGI項目	ICS財務		
項目名	科目コード	科目名称	
現金	0101	現 金	
Pontaポイント(Airウォレット)	0166	売 掛 金	
クレジットカード(Airペイ)	0166	売 掛 金	
交通系電子マネー(Airペイ)	0166	売 掛 金	
ポイント(Airペイ ポイント)	0166	売 掛 金	
QUICPay(Airペイ)	0166	売 掛 金	
iD(Airペイ)	0166	売 掛 金	
クレジットカード/電子マネー(Square)	0166	売 掛 金	
QR決済(Airペイ QR)	0166	売 掛 金	
ポイント(ホットペッパーグルメ)	0166	売 掛 金	
金券合計	0168	他 売上 債権	
売掛合計	0166	売 掛 金	

行追加(F7) 行削除(F8) 上へ移動 下へ移動

摘要選択

No.	摘要として使用する項目	取込
1	レジID	<input type="checkbox"/>
2	レジ担当者名	<input type="checkbox"/>
3	カテゴリー名	<input type="checkbox"/>
4	メニュー名	<input type="checkbox"/>
5	種別1	<input type="checkbox"/>
6	種別2	<input type="checkbox"/>

行追加(F7) 行削除(F8) 上へ移動 下へ移動

仕訳形式

1取引伝票ごとの仕訳を作成する

日合計した仕訳を作成する

月合計した仕訳を作成する

複合仕訳形式で取り込む

伝票名を伝票番号として取り込む

取込開始

①金券合計・売掛合計の内訳項目に対応するため、ユーザー側で取り込みたい項目名の変更や追加・削除を可能にし、利便性を向上しました。

項目設定

AirREGI項目	ICS財務		
項目名	科目コード	科目名称	
現金	0101	現 金	
Pontaポイント(Airウォレット)	0166	売 掛 金	
クレジットカード(Airペイ)	0166	売 掛 金	
交通系電子マネー(Airペイ)	0166	売 掛 金	
ポイント(Airペイ ポイント)	0166	売 掛 金	
QUICPay(Airペイ)	0166	売 掛 金	
iD(Airペイ)	0166	売 掛 金	
クレジットカード/電子マネー(Square)	0166	売 掛 金	
QR決済(Airペイ QR)	0166	売 掛 金	
ポイント(ホットペッパーグルメ)	0166	売 掛 金	
金券合計	0168	他 売上 債権	
PayPay	0166	売 掛 金	
au PAY	0166	売 掛 金	

行追加(F7) 行削除(F8) 上へ移動 下へ移動

\* AirREGI項目とICS財務科目名称を設定するエリアを「項目設定」としました。

\* AirREGI項目名を変更できるようにしました。最大入力可能文字数は全角50(半角100)文字です。

- ②摘要選択の項目名を変更、追加・削除可能にしました。最大入力可能文字数は全角 40（半角 80）文字です。既定項目は仕訳形式で「1 取引伝票ごとの仕訳を作成する」選択時に変更可能です。

摘要選択

No.	摘要として使用する項目	取込
1	レジID	<input type="checkbox"/>
2	レジ担当者名	<input type="checkbox"/>
3	カテゴリー名	<input type="checkbox"/>
4	メニュー名	<input type="checkbox"/>
5	種別 1	<input type="checkbox"/>
6	種別 2	<input type="checkbox"/>

行追加(F7) 行削除(F8) 上へ移動 下へ移動

- \* 摘要選択の 7 行目に従前あった（自由入力）欄はカットし、後述の行追加機能で対応していただくようになります。既存プログラムで入力済みの自由入力文字は、対応プログラム起動後も引き継がれます。
- ・ 仕訳形式が「日合計した仕訳を作成する」「月合計した仕訳を作成する」の場合、これまでどおり、CSV ファイルと一致する項目名称は背景色をグレー、一致していなければ背景色を白で表示し、背景色グレーの項目は取り込みません。初期項目だけではなく、追加した項目も CSV ファイルと同一名称であればグレー表示となります。

摘要選択

No.	摘要として使用する項目	取込
1	レジID	<input type="checkbox"/>
2	レジ担当者名	<input type="checkbox"/>
3	カテゴリー名	<input checked="" type="checkbox"/>
4	メニュー名	<input checked="" type="checkbox"/>
5	種別 1	<input type="checkbox"/>
6	種別 2	<input type="checkbox"/>

行追加(F7) 行削除(F8) 上へ移動 下へ移動

仕訳形式

1 取引伝票ごとの仕訳を作成する

日合計した仕訳を作成する

月合計した仕訳を作成する

- ③項目設定・摘要選択欄外に「行追加(F7)」「行削除(F8)」「上へ移動」「下へ移動」ボタンを設けました。

### 行追加(F7)

- ・ 「行追加(F7)」を行うと登録最終行の下に空行を追加します。項目設定エリアに AirREGI 項目と ICS 科目を任意に登録してください。摘要選択エリアに摘要として使用する項目の名称を任意に登録してください。それぞれ最大 20 件まで登録可能です。

### 項目設定

金券合計	0168	他 売上 債権
売掛合計	0166	売 掛 金

行追加(F7) 行削除(F8) 上へ移動 下へ移動



## 摘要選択

No.	摘要として使用する項目	取込
1	レジID	<input type="checkbox"/>
2	レジ担当者名	<input type="checkbox"/>
3	カテゴリ名	<input checked="" type="checkbox"/>
4	メニュー名	<input type="checkbox"/>
5	種別1	<input type="checkbox"/>
6	種別2	<input type="checkbox"/>
7		<input type="checkbox"/>

行追加(F7) 行削除(F8) 上へ移動 下へ移動

### 行削除 (F8)

- ・「行削除(F8)」で1行ごと削除します。行全体または各項目欄へのフォーカスでF8が有効となります。
- ・行はそのままで名称だけを削除する場合は、各項目欄でDeleteキーを押してください。

### 項目設定

AirREGIインポート

「Pontaポイント(Airウォレット)」を削除します。  
よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

### 摘要選択

AirREGIインポート

「種別2」を削除します。  
よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

### 「上へ移動」「下へ移動」

- ・「上へ移動」「下へ移動」は、ボタンクリックで機能します。項目行の色に関係なく移動可能です。

## 取込時のルール (項目設定)

- \* 項目設定での取込の条件は、CSVデータの金額が不正でないこと、及びCSVファイルと当業務の双方で名称が完全一致していることです。また、次の条件では金額不整合のメッセージを表示し、取込処理を中断します。
- ・双方で項目名称が同じでも、一方が全角でもう一方が半角の場合（別の認識となるため）
- ・CSVファイルにデータがある項目をAirREGI項目に登録していない場合

AirREGIインポート

支払い金額の合計と売上金額の合計が不整合のため、取り込みを行えません。  
CSVの内容を確認し、再度取り込みを行ってください。

OK

- \* 次の条件では取込処理を行います。
  - ・CSVファイルにない項目をAirREGI項目に登録している場合
  - ・CSVファイルの項目とAirREGI項目が一致していなくても、その項目にデータがない場合
  - ・空行（AirREGI項目名とICS科目名称のいずれも入力していない行）がある場合
- ※空行は無視して有効なデータのみで取込を行います。

- \* 項目の並びはCSVファイルと異なっていても取込可能で、仕訳は項目設定の並びで生成されます。

## 【補足】

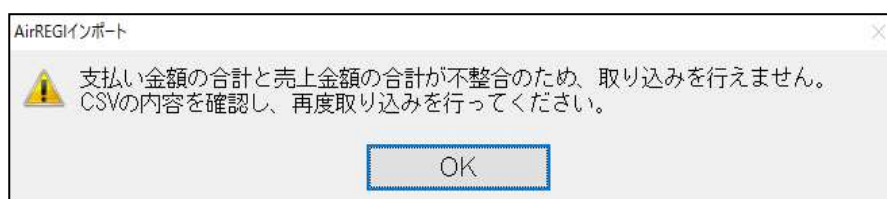
\* CSV ファイルにおいて、1 取引に売掛合計と売掛内訳（初期項目では Ponta ポイント(Air ウォレット)～ポイント(ホットペッパーグルメ)) のいずれのデータも登録している場合、項目設定でいずれの AirREGI 項目もセットされている状態では、金額不整合のメッセージを表示して取り込みを中断します。その場合は売掛内訳と売掛合計のいずれかを CSV ファイル上または AirREGI 項目から削除したのちに取込を行ってください。

金券の内訳を登録している場合の取込も同様です。以下に取込パターンを示します。

※売掛内訳：Ponta ポイント(Air ウォレット)、PayPay など

※金券内訳：は地域商品券、旅行支援クーポンなど

CSV 項目	AirREGI 項目	取込結果
内 訳	内 訳	○(取込可・内 訳)
合 計	合 計	○(取込可・合 計)
内 訳	合 計	△(取込可・転記不可)
合 計	内 訳	△(取込可・転記不可)
内 訳	内訳+合計	○(取込可・内 訳)
合 計	内訳+合計	○(取込可・合 計)
内訳+合計	内 訳	○(取込可・内 訳)
内訳+合計	合 計	○(取込可・合 計)
内訳+合計	内訳+合計	×(取込不可)



## 取込時のルール（摘要選択）

\* 摘要選択での取込の条件は、CSV データと摘要選択の文字が一致している項目は項目内のデータを摘要として取り込みます。一致していない場合は、摘要選択の文字を摘要として取り込みます。

CSV の項目名が「メニュー名」で、摘要選択の文字が「メニュー」のように一致していないと摘要に「メニュー」と転記します。

### 例外)

「カテゴリー名」は、前回 CSV の項目名が「カテゴリー名」「カテゴリー名」いずれでも取り込めるようにしていますので、「カテゴリー名」でも文字が一致している項目として扱っています。

④データ数が多い場合、取り込みに時間がかかるため、プログレスバーを表示するようにしました。



# 修正

## I. 登録・入力

### 1) 仕訳入力

- ① [Ins 定型仕訳] 選択画面の Shift+上下矢印での選択動作を変更しました。  
Shift+下矢印で範囲指定して、Shift+上矢印で戻ると、戻った先の番号も解除されていたため。  
Shift+↓で、3~6を範囲指定

番号	部門	借方	貸方	金額	税額	消費税	摘要
1		現金	売上高	1		内10	現金売上
2		掛金	売上高	1		内10	掛売上
○ 3		現金	掛金				売掛金回収
○ 4		受取手形	掛金				売掛金回収
○ 5		当座預金 1	掛金				売掛金回収
○ 6		売上高 1	掛金			内10	返品
7		売上値引	掛金			内10	値引
8		売上戻金	掛金			内10	返品
9		現金	雑収入			内10	

Shift+↑で6から5に戻すと、5も解除されて、3~4までの範囲指定になっていたのを、下記のように3~5の範囲指定になるようにしました。

番号	部門	借方	貸方	金額	税額	消費税	摘要
1		現金	売上高	1		内10	現金売上
2		掛金	売上高	1		内10	掛売上
○ 3		現金	掛金				売掛金回収
○ 4		受取手形	掛金				売掛金回収
○ 5		当座預金 1	掛金				売掛金回収
6		売上高 1	掛金			内10	返品
7		売上値引	掛金			内10	値引
8		売上戻金	掛金			内10	返品
9		現金	雑収入			内10	

### 2) 元帳検索

- ①「補助元帳」選択時に、科目指定欄のうち2行目以降に販管費以降の科目を指定すると検索結果が正しくなかったのを修正しました。  
“該当する仕訳がありません。”と表示されていました。
- ②「補助元帳」選択時に、科目指定欄左側のみ科目をセットして検索すると販管費以降の科目が表示されなかったのを修正しました。
- ③残高問合せからマウスで元帳に移動し、貸借修正ダイアログの消費税修正後にマウスで“仕訳修正(End)”を操作した場合とキーボードで操作した場合とで動作が異なっていたのを修正しました。  
※マウスで仕訳修正(End)したときに残高問い合わせ等の画面が一時的に表示されていました。
- ④元帳検索を起動した状態で、残高問い合わせから科目を指定して元帳検索に切り替わったときに、キーボードでの操作ができない場合があったのを修正しました。(Windows11環境で発生)

### 3) 残高問い合わせ

- ①「残高」等の他のタブから「推移損益」タブに切り替えると、売上原価・売上総利益・当期純利益等の合計科目が重複して表示される場合があったのを修正しました。

### 4) 科目日計(集計)表

- ①月末締めでないマスターで年を跨ぐ様に月を指定した場合に、前月繰越が正しく表示されていなかったのを修正しました。

### 5) 科目別日別残高表

- ①枝番の合計転記を設定した科目で見ると、繰越部分がマイナスで表示されていたのを修正しました。

## 6) 分析表集計科目登録

- ①前年同月対比分析表タブの「8 (人件費)」で[F9 集計登録]を行っている際に、登録科目の追加が行えなくなったり、登録科目の削除時のメッセージが該当科目と一致していない場合があったのを修正しました。

《例》

- (1)登録科目の「0712 給料手当」を削除し、再度「0712 給料手当」を登録する。
- (2)「0713 賞与手当」を削除する際に「給料手当を削除しますか」とメッセージが表示される。
- (3)(2)の削除後に再度「0713 賞与手当」を登録しようとする「この科目は既に登録されています」とメッセージが表示され、登録を行うことができなかった。

## II. 出力 (DX・Pro IIのみ)

### 1) 試算表・分析表

- ①「カラプリンタでは、定型用の色パターンで出力する」にチェックなし、「科目欄を網掛出力する」にチェックあり、引当金科目をすべて不使用にして、定型・試算表の貸借対照表を出力した場合、「株主資本」の網掛けが出力されないのを修正しました。
- ②「他有価証券評価差額金」を不使用にした場合、定型・試算表で「株主資本」の縦名称、網掛けが出力されないのを修正しました。

### 2) 部門別損益計算書・貸借対照表 (Pro IIのみ)

- ①枝番を合計転記に設定していると、「枝番表示を行う」で出力すると、枝番の前月残高、当月残高に△マークが付いて出力されていたのを修正しました。

### 3) 比較経営分析指数表 (Pro IIのみ)

- ①令和4年又は平成31年が決算期のマスターにおいて、出力パターン「標準I」の際に、閏年として日数を計算されていたのを、正常に計算されるように修正しました。
- ②マルチウィンドウ有効のとき、ウィンドウサイズを縮めて(コメントダイアログより狭くする)から[F8 コメント]を開くと、内容欄の1行の文字数が50文字でなくなり崩れて表示されていたのを修正しました。

## III. グラフ (Pro IIのみ)

### 1) 売上関係図表

- ①目標の選択を「なし」にしている場合、出力対象に集計部門を含んでいると出力時に下記エラーが表示されていたのを修正しました。

**キーワード'where'付近に不適切な構文があります。  
ステートメントを準備できませんでした。**



## IV. 表形式

### 1) 表形式財務予算作成

- ①科目設定で科目順を変更した場合、順番を変更した部分以降の予算が出力されなかったのを修正しました。(部門科目予算作成)
- ②科目設定で科目順を変更しても標準の科目順で予算が出力されていたのを修正しました。(科目予算/枝番予算/部門枝番予算)

### 2) 表形式仕訳データ取込

- ①「枝番付」と「仕訳区分」の追加前のプログラムの「表形式フォーマット作成」で作成された従来フォーマットのCSVを、2022年9月20日リリース(VERSION:11.902)以降のプログラムで「枝番摘要を変換する」にチェックを付けてデータ取込を実行すると、データがスキップされて取り込みできなかったのを修正しました。

### 3) 表形式振替伝票データ取込

- ①「枝番付」と「仕訳区分」の追加前のプログラムの「表形式フォーマット作成」で作成された従来フォーマットのCSVを、2022年9月20日リリース(VERSION:11.902)以降のプログラムで「枝番摘要を変換する」にチェックを付けてデータ取込を実行すると、データがスキップされて取り込みできなかったのを修正しました。
- ②摘要の後ろに半角スペースが入っているデータがあると、そのデータのカウンタまでで業務が終了していたのを修正しました。

### 4) 表形式出納帳データ取込

- ①「枝番付」と「仕訳区分」の追加前のプログラムの「表形式フォーマット作成」で作成された従来フォーマットのCSVを、2022年9月20日リリース(VERSION:11.902)以降のプログラムで「枝番摘要を変換する」にチェックを付けてデータ取込を実行すると、入・出金が正しく取り込まれていなかったのを修正しました。

### 5) db形式データ取込全般

- ①「枝番付」と「仕訳区分」がある新フォーマットで証憑No.、手形番号、手形期日、付箋番号、付箋コメントが従来の既定位置を使用すると、項目が増えていることにより、取込ができなかったのを修正しました。

従来のフォーマットでの既定位置

	証憑番号	手形番号	手形期日	付箋番号	付箋コメント
仕訳形式	W列	X列	Y列	Z列	AA列
出納帳形式	T列	U列	V列	W列	X列
db振替伝票形式	AF列	AG列	AH列	AI列	AJ列
db出納帳形式	W列	X列	Y列	Z列	AA列
db仕訳形式	Z列	AA列	AB列	AC列	AD列

「枝番加」「仕訳区分」対応後のフォーマットでの既定位置

	証憑番号	手形番号	手形期日	付箋番号	付箋コメント
仕訳形式 (+3列)	Z 列	AA 列	AB 列	AC 列	AD 列
出納帳形式 (+2列)	V 列	W 列	X 列	Y 列	Z 列
db振替伝票形式 (+4列)	AJ 列	AK 列	AL 列	AM 列	AN 列
db出納帳形式 (+2列)	Y 列	Z 列	AA 列	AB 列	AC 列
db仕訳形式 (+3列)	AC 列	AD 列	AE 列	AF 列	AG 列

※証憑番号・手形期日・手形番号・付箋番号・付箋コメントは各項目の既定列にセットしてください。

(各列を別の用途で使用されている場合はご注意ください。)

※db仕訳形式のみ、会社登録で「証憑番号の使用：使用する」になっていると、フォーマット作成時に「証憑番号」の項目名を自動追加します。(従来からの仕様です。)

※項目名のチェックは行いません。

## V. レジデータ取込/AirREGI インポート

- ① [F6 詳細設定] で「積み上げ計算を行う」を選択している状態で取込を行うと、商品(8%軽減)とレジ袋5円(10%)等が混在している合計行があると、5円の仕訳の税額が8%軽減の合計の税額になっていたのを修正しました。

商品 4030 円 (8%軽減 税額 298 円) レジ袋 5 円 (10% 税額 0 円)  
 諸口/売上高 5 円 (税額 298 円) 内 10 の仕訳が作成されていました。  
 5 円 (税額 0 円) となるように修正しました。

09.01		諸	<input type="checkbox"/>	売上高 10001	5	298	内10
09.01		諸	<input type="checkbox"/>	売上高 10001	4,030	298	内8軽
09.01		現	金	諸 <input type="checkbox"/>	4,035		

※既に取り込み済みの仕訳は、仕訳入力画面で確認すると税額がピンク色に表示されています。  
 仕訳を削除して再度レジデータ取込を行うか、仕訳修正で対応をお願いします。

- ②データ数により「メモリが不足しています。」で取り込めない場合があったのを修正しました。



# 221109 分析表集計科目登録

## I. 登録・入力

### 1) 分析表集計科目登録

①従前のタブリストの表示では、どの業務に対応している項目かが分かりにくかった為、業務毎にタブを分け、対応している項目が分かるように変更しました。

〔F9 集計登録〕〔F11 算式展開〕が行える項目に関しては、「No」列のみの背景色を緑色にするように変更しました。

また、タブの追加に伴い、対応する項目も追加しました。

#### ●1 段目タブ

1 段目のタブには業務別の下記項目を表示しています。（上記画面の赤枠）

試算表・分析表／比較経営分析指数表／経営分析報告書／資産・資本構成図表／損益分岐点図表／グラフ／経営内部透視図表／業種別・前期対比

#### ●2 段目：試算表・分析表タブ

従前の表示と同様の以下の帳票項目タブを表示しています。（上記画面の緑枠）

前年同月対比分析表／売上・仕入部門別対比分析表／資金繰実績表／資金運用表／経営分析指数表  
※従前の経営分析指数表タブのNo.29 以降の項目は、比較経営分析指数表タブができたことにより、経営分析指数表タブから削除しています。

#### ●2 段目：比較経営分析指数表タブ

以下の出力パターン項目タブのみを表示しています。（下記画面の赤枠）

標準Ⅱ／標準Ⅰ／製造業／卸売業／小売業

●2 段目：経営分析報告書タブ

経営分析報告書の帳票項目タブのみを表示しています。（下記画面の赤枠）

試算表・分析表 比較経営分析指数表 **経営分析報告書** 資産・資本構成図表 損益分岐点図表 グラフ 経営内部透視図表 業種別・前期対比

**経営分析報告書**

NO.	項目名
1	売上高総利益率
2	売上高経常利益率
3	売上債権回転期間
4	棚卸資産回転期間
5	買入債務回転期間
6	流動比率
7	当座比率
8	固定長期適合率
9	自己資本比率
10	変動費
11	変動費率
12	固定費
13	固定費率
14	限界利益
15	限界利益率
16	損益分岐点売上高
17	損益分岐点比率
18	経営安全額
19	経営安全率
20	人件費

登録数 23

項目名称  
初期化(Home)

共通で使用している項目の名称や算式を変更すると、他のタブの同一項目にも反映します。

●2 段目：資産・資本構成図表タブ

資産・資本構成図表の帳票項目タブのみを表示しています。（下記画面の赤枠）

試算表・分析表 比較経営分析指数表 経営分析報告書 **資産・資本構成図表** 損益分岐点図表 グラフ 経営内部透視図表 業種別・前期対比

**資産・資本構成図表**

NO.	項目名
1	流動比率
2	当座比率
3	現金比率
4	固定比率
5	流動資産対固定比率
6	資本負債比率

登録数 6

項目名称  
初期化(Home)

共通で使用している項目の名称や算式を変更すると、他のタブの同一項目にも反映します。

●2 段目：損益分岐点図表タブ

損益分岐点図表の帳票項目タブのみを表示しています。（下記画面の赤枠）

試算表・分析表 比較経営分析指数表 経営分析報告書 資産・資本構成図表 **損益分岐点図表** グラフ 経営内部透視図表 業種別・前期対比

**損益分岐点図表**

NO.	項目名
1	純売上高
2	変動費合計
3	限界利益
4	固定費合計
5	損益分岐点売上高
6	経営安全額
7	変動費率
8	固定費率
9	限界利益率
10	損益分岐点比率
11	経営安全率

登録数 11

項目名称  
初期化(Home)

共通で使用している項目の名称や算式を変更すると、他のタブの同一項目にも反映します。



●2 段目：グラフタブ

グラフ（科目別比較グラフ／複合比較（5 科目）グラフ／複合推移（5 科目）グラフ）の帳票項目タブのみを表示しています。（下記画面の赤枠）

試算表・分析表 比較経営分析指数表 経営分析報告書 資産・資本構成図表 損益分岐点図表 **グラフ** 経営内部透視図表 業種別・前期対比

グラフ(科目別比較グラフ/複合比較(5科目)グラフ/複合推移(5科目)グラフ)

NO.	項目名
1	総資本営業利益率
2	総資本経常利益率
3	総資本当期純利益率
4	自己資本当期純利益率
5	売上高総利益率
6	売上高営業利益率
7	売上高経常利益率
8	売上高当期純利益率
9	売上高対分務費比率
10	売上高対販売費・管理費比率
11	売上高対人件費比率
12	売上高対支払利息割引料比率
13	総資本回転率
14	固定資産回転率
15	有形固定資産回転率
16	売上債権回転期間
17	棚卸資産回転期間
18	買入債務回転期間
19	流動比率
20	当座比率

登録数 48

項目名称  
初期化(Home)

共通で使用している項目の名称や算式を変更すると、他のタブの同一項目にも反映します。

●2 段目：経営内部透視図表タブ

経営内部透視図表（レーダーチャート）タブの帳票項目タブのみを表示しています。（下記画面の赤枠）

試算表・分析表 比較経営分析指数表 経営分析報告書 資産・資本構成図表 損益分岐点図表 グラフ **経営内部透視図表** 業種別・前期対比

経営内部透視図表(レーダーチャート)

NO.	項目名
1	経営資本対営業利益率
2	売上高対経常利益率
3	売上総利益対総経費率
4	交叉主義比率
5	流動比率
6	総資本對自己資本比率
7	固定比率
8	総資本回転率
9	販売資産回転率
10	売上高増加率
11	従業員1人当り月平均売上高
12	従業員1人当り総利益高

登録数 12

項目名称  
初期化(Home)

共通で使用している項目の名称や算式を変更すると、他のタブの同一項目にも反映します。

●2 段目：業種別・前期対比タブ

下記の業種選択項目タブを表示しています。（下記画面の赤枠）  
製造業／卸売業／小売業

試算表・分析表 比較経営分析指数表 経営分析報告書 資産・資本構成図表 損益分岐点図表 グラフ 経営内部透視図表 **業種別・前期対比**

製造業 | 卸売業 | 小売業

NO.	項目名
1	売上高対総利益率
2	売上高対営業利益率
3	経営資本対営業利益率
4	経営資本回転率
5	販売・管理費比率
6	従業員1人当り月平均生産高
7	従業員1人当り月平均加工高
8	加工高比率
9	従業員1人当り機械設備額
10	当座比率
11	流動比率
12	固定長期適合率
13	総資本對自己資本比率

登録数 13

項目名称  
初期化(Home)

共通で使用している項目の名称や算式を変更すると、他のタブの同一項目にも反映します。

- ・タブリストの表示の変更に伴い、項目の名称変更を行った場合に、他業務へ反映される箇所も変更しました。

名称変更反映業務	タブ(従前)	タブ(変更後)
科目設定・残高登録業務 分析登録タブ-資金繰残高 タブ/資金繰科目登録タブ	資金繰実績表	試算表・分析表タブ-資金繰実績表
科目設定・残高登録業務 分析登録タブ-標準値(分析 表)	経営分析指数表	比較経営分析指数表タブ-標準Ⅰ/製 造業/卸売業/小売業
科目設定・残高登録業務 分析登録タブ-標準値(比較 経営分析指数表)	比較経営分析指数表	比較経営分析指数表タブ-標準Ⅱ
銀行CSV取込/銀行データ 受信(Fintech)/原票読 取・編集・転記 /通帳読取・編集・転記/ カード読取・編集・転記/ 仕訳入力 諸口枝番入力時	資金繰実績表	試算表・分析表タブ-資金繰実績表
資金繰実績・予定表	資金繰実績表	試算表・分析表タブ-資金繰実績表
表形式残高作成(出力形 式:資金繰残高表)-CSV出 力	資金繰実績表	試算表・分析表タブ-資金繰実績表
試算表・分析表業務-合計 明細ダイアログ-分析項目 タブ	比較経営分析指数表	比較経営分析指数表タブ-標準Ⅱ

また、上記表のタブ(変更後)を選択している時に、名称変更が反映される業務が分からなかった為、画面上にどの業務に反映するかのガイドを表示するようにしました。

選択タブ	ガイド文言
試算表・分析 表タブ-資金繰 実績表	名称の変更は科目設定・残高登録業務-分析登録、科目入力-諸口枝番、 表形式残高作成業務-資金繰残高表、資金繰実績・予定表業務にも反映 されます。
比較経営分析 指数表タブ-標 準Ⅰ/製造業/ 卸売業/小売業	名称の変更は科目設定・残高登録業務-分析登録にも反映されます。
比較経営分析 指数表タブ-標 準Ⅱ	名称の変更は科目設定・残高登録業務-分析登録、試算表・分析表業務- 合計・明細-分析項目にも反映されます。

《ガイド例(試算表・分析表タブ-経営分析指数表)》

前年同月対比分析表   売上・仕入部門別対比分析表   資金繰実績表   資金運用表   <b>経営分析指数表</b>
名称の変更は科目設定・残高登録業務-分析登録にも反映されます。

②算式の科目を調整できるように、[F11 算式展開] の機能と算式展開ダイアログのレイアウトを変更しました。（下記画像の赤・青・緑・紫枠に関しては、後述の説明で使用します。）

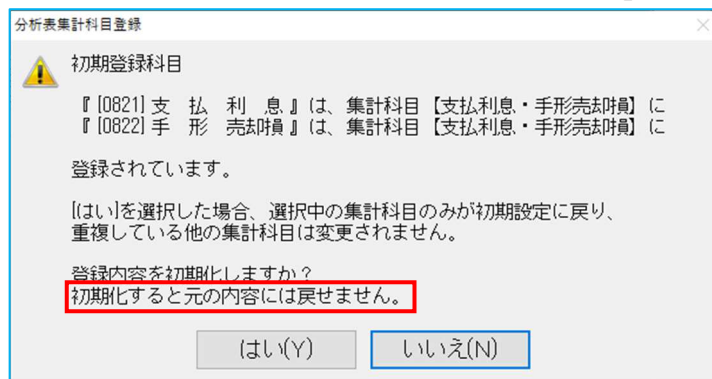


(1)集計科目が分母と分子に分かれて表示されるようになりました。

算式表示部分の分母、分子の部分をクリックすることで、下部のフォーカスが該当部分へ移動します。

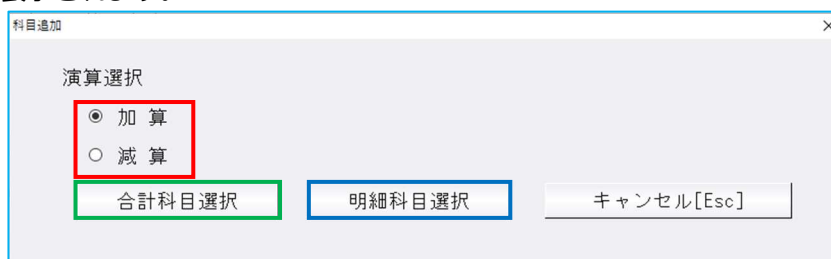
(2)従前と同様に集計科目の緑色行については[F11 集計登録]が行えます。

動作に変更はございませんが、集計科目登録ダイアログの[F7 初期化]を行った際のメッセージの最後に「初期化すると元の内容には戻せません。」の一文が追加されました。



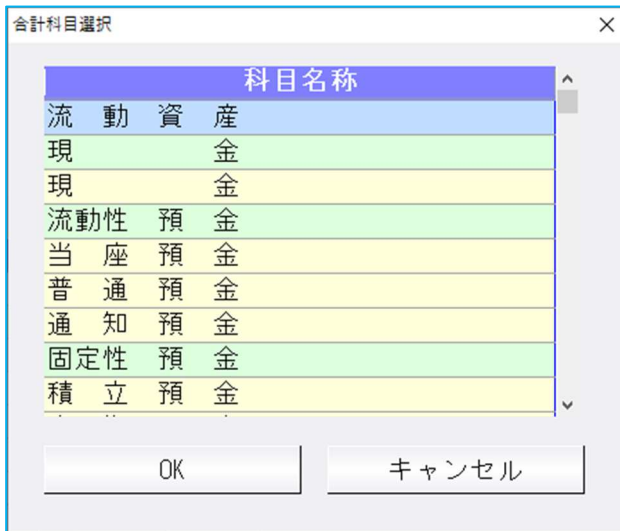
(3)算式展開ダイアログ内に、分母、分子に集計科目を追加する機能として、「追加 [Ins]」ボタンが追加されました。

上記ダイアログの赤枠部分の「追加 [Ins]」ボタンを押下すると、下記の科目追加ダイアログが表示されます。



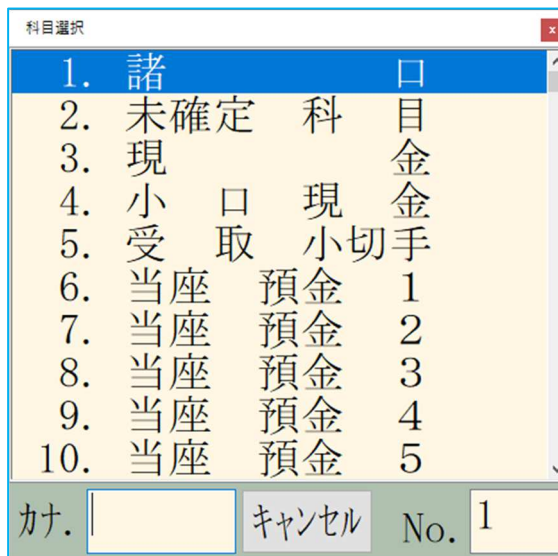
- ・科目追加ダイアログ内の赤枠部分で、追加したい科目の加算か減算かを選択します。  
※加算/減算については、科目追加後でも変更可能です。（後述の(4)参照）

- 科目追加を行いたい科目が「合計科目」の場合は、科目追加ダイアログ内の緑枠部分の「合計科目選択」を押下することで、下記の合計科目選択ダイアログを表示します。  
ダイアログ内から追加したい科目を選択し、「OK」を選択することで、指定科目を追加できます。



※科目の背景色に関しては、科目設定業務と同様です。

- 科目追加を行いたい科目が「明細科目」の場合は、科目追加ダイアログ内の青枠部分の「明細科目選択」を押下することで、下記の明細科目選択ダイアログを表示します。  
ダイアログ内から追加したい科目をクリック又は、追加したい科目にカーソルを合わせて Enter を押下することで、指定科目を追加できます。



(4)算式展開ダイアログ内に、集計科目の加算／減算の符号を変更する機能として、「符号変更」ボタンを追加しました。

符号を変更したい科目にカーソルをセットし、5 ページのダイアログの緑枠部分の「符号変更」ボタンを押下すると符号を変更することができます。

※集計科目によって符号変更を行えない科目がございます。

変更が行えない科目についてはカーソルをセットしても「符号変更」ボタンがグレーアウトの状態となっています。(ex.営業利益、資産合計、人件費等)

(5)算式展開ダイアログ内の集計科目を削除する機能として、「削除 [Del]」ボタンを追加しました。

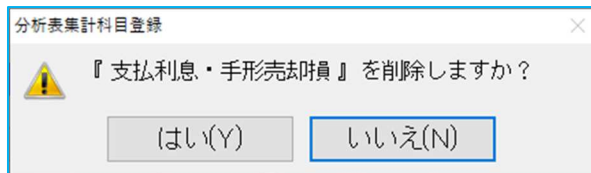
削除したい科目にカーソルをセットし、5 ページのダイアログの青枠部分の「削除 [Del]」ボタンを押下することで、下記のメッセージが表示されます。

「はい (Y)」を選択することで、該当科目を削除することができます。

※『 』内は選択した科目名が表示されます。

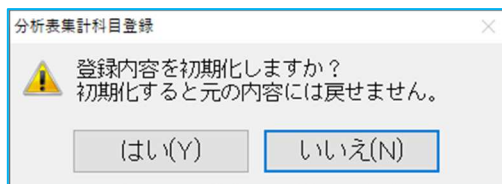
※集計科目によって削除を行えない科目がございます。

削除が行えない科目については、カーソルをセットしても「削除 [Del]」ボタンがグレースアウトの状態となっています。(ex.営業利益、資産合計、人件費)



(6)算式展開ダイアログに [F7 初期化] を追加しました。

5 ページのダイアログの紫枠部分の [F7 初期化] を選択することで、下記のメッセージを表示し、「はい (Y)」を選択することで、科目の追加や削除、符号の変更等の編集内容を全て初期化します。



(7)算式展開が可能なタブは以下の通りです。

- ・試算表・分析表タブ ※経営分析指数表のみ
- ・比較経営分析指数表タブ
- ・経営分析報告書タブ
- ・資産・資本構成図表タブ
- ・グラフタブ
- ・経営内部透視図表タブ
- ・業種別・前期対比タブ

(8)算式展開、算式編集が可能な項目を追加しました。

算式展開等が可能な項目は、従前と同様に背景色が緑色の項目となっています。

※算式内に自分で登録ができない科目 (延べ従業員数等) が存在する項目は、算式展開を行えません。

その際に、集計登録可能項目がある場合は、算式展開は可能となっています。

(9)各項目の計算式について

初期設定では以下の項目を除き、従前と各項目の計算式に変わりはありません。

《交叉主義比率》

左右のカッコ内を先に計算し、それぞれ端数処理を行った結果を乗じて計算していたが、他の項目と同様の計算を行うように変更しました。(算式上の左右のカッコを外して、左から順に計算するように変更しました。)

※計算方法の変更により、従前と計算結果が変わる場合があるのでご注意ください。

対象帳票)

試算表・分析表 (経営分析指数表)、比較経営分析報告書 (標準 I)、経営内部透視図表 (レーダーチャート)

例)

純売上高 67,112,000

売上総利益 35,819,000

商品・製品 686,000

決算期間 R04.01.01~R04.12.31 出力月 12月

変更前) 左右のカッコ内を先に計算し、それぞれ端数処理を行った結果を乗じる計算

(売上総利益÷純売上高×100) × (純売上高÷商品・製品×(12÷経過月))

(売上総利益÷純売上高×100) = 35,819,000÷67,112,000×100 = 53.3719…

(純売上高÷商品・製品×(12÷経過月)) = 67,112,000÷686,000×(12÷12) = 97.830…

53.3×97.8 = 5212.7

変更後) 左から順に計算

売上総利益÷純売上高×100×純売上高÷商品・製品×(12÷経過月)

35,819,000÷67,112,000×100×67,112,000÷686,000×(12÷12) = 5221.4

《延べ従業員数》

従業員 1 人当たり月平均人件費等の算式内で使用している「延べ従業員数」において、比較経営分析指数表業務の「標準Ⅱ」とそれ以外の帳票で計算方法が違っており、「標準Ⅱ」と同様の集計方法に変更しました。

※計算方法の変更により、従前と計算結果が変わる場合がございます。

対象帳票)

比較経営分析指数表(標準Ⅱ以外)、経営内部透視図表(レーダーチャート)、

業種別レーダーチャート、前期対比レーダーチャート

例)

従業員数が以下の場合で、3月を選択した場合の計算(決算期間 R04.01.01~R04.12.31)

1月…1人

2月…2人

3月…3人

変更前)

新規会社登録・修正・削除業務で登録された従業員数のうち、選択月の従業員数×月数

3人×3月 = 9人

変更後)

新規会社登録・修正・削除業務で登録された従業員数のうち、選択月までの合計

1人+2人+3人 = 6人

※従前のプログラムでのマスター移動等に関して

上記の改良により表示等は大きく変わりますが、計算式に関しては変更が無い為、従前のプログラムでのマスター移動等は可能となっておりますが、従前、算式展開が不可だった項目に関しては、当プログラムで算式を編集した場合、従前のプログラムで算式を編集することができない為、ご注意ください。

また、集計科目を追加した項目に関しては、分析表集計科目チェックリストにおいて、表示が崩れる場合がございます。



③分析表集計科目チェックリストのフォントサイズや表示内容の調整を行いました。

- ・表示上、科目の後に入力コードが付いているかどうかの統一性がなかった為、明細科目であれば入力コードを付けて、合計科目であれば付けないようにしました。

《例》

経営資本対営業利益率	( % )
営業利益 - {支払利息(0821) + 手形売却損(0822)}	
<hr/>	
資産合計 - 有価証券 - {貸付金1 (0182) + 貸付金2 (0183)}	× 100 × (12 / 経過月)
- 投資その他の資産	

- ・出力するチェックリストの項目は、表示している画面のタブに合わせて表示します。

出力設定

出力リスト選択

- 標準II
- 標準I
- 製造業
- 卸売業
- 小売業

出力方法選択

- 変更後の集計科目
- ICS標準

OK[Enter]      キャンセル[ESC]

## II. 出力 (DX・Pro IIのみ)

### 1) 試算表・分析表

- ①分析表集計科目登録の改良に伴い、分析表集計科目登録で変更された計算式を反映するように対応しました。
- ②法人、運送業、個人の「交叉主義比率」の計算方法を変更しました。  
※計算式を変更していない場合でも、従前のプログラムと計算結果が異なる場合があります。  
詳細は8ページを参照ください。

### 2) 比較経営分析指数表 (Pro IIのみ)

- ①分析表集計科目登録の改良に伴い、分析表集計科目登録で変更した計算式を反映するように対応しました。
- ②上記改良に伴い、分析項目名称は文字数によりフォントサイズを変更して枠内に収まるように対応しました。  
また、文字計算式と計算基礎数値欄は列幅を変更できるように対応を行いました。  
※ただし、備考欄が既に可変長となっている為、備考欄が出力されている場合は、文字計算式と計算基礎数値欄は従前と同様の列幅で出力します。
- ③出力パターン「標準I」の「交叉主義比率」の計算方法を変更しました。  
※計算式を変更していない場合でも、従前のプログラムと計算結果が異なる場合があります。  
詳細は8ページを参照ください。
- ④出力パターン「標準II」以外の算式内で使用している「延べ従業員数」の計算方法を変更しました。  
※詳細は8ページを参照ください。
- ⑤算式の変更を行っていない状態で出力した場合の「文字計算式」と「計算基礎数値」を10~11ページのリストのように変更しました。  
※表示の変更のみで、計算結果に変更はございません。

業種	出力パターン	分析項目	項目	従前と異なる内容
法人・運送業・個人・建設	標準Ⅱ	買入債務回転期間	文字計算式	分子の項目名 従前：支払手形・買掛金 改良後：支払手形及び買掛金
法人・個人	標準Ⅰ	年間売上高	文字計算式	従前： 改良後：純売上高
法人・個人	標準Ⅰ	交叉主義比率	文字計算式	従前： $(\text{総利益} \div \text{営業収入}) \times (\text{営業収入} \div \text{商品・製品}) \times 100$ 改良後： $(\text{総利益} \div \text{営業収入}) \times (\text{営業収入} \div \text{商品・製品}) \times 100 \times (12 \div \text{月数})$
法人・運送業・個人・建設・病院	標準Ⅰ・製造業・卸売業・小売業・運送業・建設業・病院業	固定長期適合率	計算基礎数値	従前： $A \div B \times 100$ 改良後： $A \div (C + D) \times 100$
法人・個人	標準Ⅰ	受取勘定回転期間	計算基礎数値	従前： $A \div (B \div \text{日数})$ 改良後： $A \div B \times \text{日数}$
法人・個人	標準Ⅰ	支払勘定回転期間	計算基礎数値	従前： $A \div (B \div \text{日数})$ 改良後： $A \div B \times \text{日数}$
法人・個人	標準Ⅰ	手許流動性	計算基礎数値	従前： $A \div (B \div \text{日数})$ 改良後： $A \div B \times \text{日数}$
法人・個人	製造業	従業員1人当り月平均生産高	計算基礎数値	従前： $(A - B) \div C$ 改良後： $D \div C$
法人・個人	製造業	従業員1人当り月平均加工高	計算基礎数値	従前： $(A - B - C) \div D$ 改良後： $E \div D$
法人・個人	製造業	加工高比率	計算基礎数値	従前： $(A - B) \div C \times 100$ 改良後： $D \div C \times 100$
法人・個人	製造業	機械投資効率	計算基礎数値	従前： $(A - B) \div C \times (12 \div \text{月数})$ 改良後： $D \div C \times (12 \div \text{月数})$
法人・個人	製造業	従業員1人当り機械装備額	計算基礎数値	従前： $(A - B) \div C$ 改良後： $D \div C$
運送業	運送業	年間営業収入	文字計算式	従前： 改良後：営業収入
運送業	運送業	交叉主義比率	文字計算式	従前： $(\text{総利益} \div \text{営業収入}) \times (\text{営業収入} \div \text{商品・製品}) \times 100$ 改良後： $(\text{総利益} \div \text{営業収入}) \times (\text{営業収入} \div \text{商品・製品}) \times 100 \times (12 \div \text{月数})$
運送業	運送業	固定長期回転期間	計算基礎数値	従前： $A \div B \times 100$ 改良後： $A \div (C + D) \times 100$
運送業	運送業	受取勘定回転期間	計算基礎数値	従前： $A \div (B \div \text{日数})$ 改良後： $A \div B \times \text{日数}$
運送業	運送業	支払勘定回転期間	計算基礎数値	従前： $A \div (B \div \text{日数})$ 改良後： $A \div B \times \text{日数}$
運送業	運送業	手許流動性	計算基礎数値	従前： $A \div (B \times \text{日数})$ 改良後： $A \div B \times \text{日数}$
建設	建設業	完成工事対営業利益率	文字計算式	従前： $(\text{営業利益} - \text{支払利息等}) \div \text{純売上高} \times 100$ 改良後： $\text{営業利益} \div \text{純売上高} \times 100$



建設	建設業	自己資本回転率	文字計算式	従前：純売上高÷自己資本×100 改良後：純売上高÷自己資本×(12÷月数)
建設	建設業	完成工事高対外注費比率	文字計算式	従前：外注費÷純売上高×100 改良後：外注加工費÷純売上高×100
建設	建設業	固定長期適合率	計算基礎数値	従前：A÷B×100 改良後：A÷(C÷D)×100
建設	建設業	従業員1人当り完成加工高	計算基礎数値	従前：(A-B)÷C 改良後：D÷C
建設	建設業	完成加工高対人件費比率	計算基礎数値	従前：(A-B)÷C×100 改良後：D÷C×100
建設	建設業	機会投資効率	計算基礎数値	従前：(A-B)÷C×(12÷月数) 改良後：D÷C×(12÷月数)
建設	建設業	従業員1人当り機械装備額	計算基礎数値	従前：(A-B)÷C 改良後：D÷C

### Ⅲ. グラフ (ProⅡのみ)

#### 1) 分析項目登録

①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。

#### 2) 資産・資本構成図表

①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。

- ・ 静態分析項目の現金比率、流動資産対固定比率、資本負債比率の3項目については、従前の分析表集計科目登録にない項目の為、分析表集計科目登録で新たに追加しています。
- ・ 画面表示、出力とも分析項目名（最大全角20文字）が枠に収まらない場合は、フォントを小さくして出力するようにしました。

#### 3) 損益分岐点図表

①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。

- ・ 限界利益については、従前の分析表集計科目登録にない項目の為、分析表集計科目登録で新たに追加しています。
- ・ 従前の画面表示の表示方法ではフォントが小さくなりすぎる為、フォントサイズ等を大きくしました。
- ・ 画面表示で【損益分析点分析表】の列幅を変更可能にしました。  
変更した列幅は保存し、次回起動時に変更した列幅で表示するようにしています。  
※変更した列幅は出力には反映しません。
- ・ 画面表示で分析項目名が枠に収まらない場合は、マウスを近づけることでポップアップを表示し、分析項目名を表示します。
- ・ 出力時に分析項目名が枠に収まらない場合は、フォントを小さくして出力します。

#### 4) 科目別比較グラフ

- ①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。
- ・従前の表示画面では全角 14 文字までしか表示されていなかったのを、全角 20 文字まで全て表示するようにしました。

#### 5) 複合比較 (5 科目) グラフ

- ①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。
- ・表示画面や出力等で分析項目名が全角 20 文字まで出力できるようにしました。  
[F11 データ修正] …全角 14 文字以降を 2 行目に表示します  
表示画面…全角 16 文字以降を 2 行目に表示します。  
出力帳票 (金額欄表示位置: 下) …全角 16 文字以降を 2 行目に表示します。  
出力帳票 (金額欄表示位置: 右) …全角 17 文字以降を 3 行目に表示します。

#### 6) 複合推移 (5 科目) グラフ

- ①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。
- ・表示画面や出力等で分析項目名が全角 20 文字まで出力できるようにしました。  
[F11 データ修正] …全角 16 文字以降を 2 行目に表示します。  
表示画面…全角 16 文字以降を 2 行目に表示します。  
出力帳票 (金額欄表示位置: 下) …全角 16 文字以降を 2 行目に表示します。  
出力帳票 (金額欄表示位置: 右) …全角 17 文字以降を 3 行目に表示します。

#### 7) 経営内部透視図表 (レーダーチャート)

- ①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。
- ・従前の画面表示の表示方法ではフォントが小さくなりすぎる為、フォントサイズ等を大きくしました。
  - ・画面表示で右側 (表部分) の列幅を変更可能にしました。  
変更した列幅は保存し、次回起動時に変更した列幅で表示するようにしています。  
※変更した列幅は出力には反映しません。
  - ・画面表示の左側 (レーダーチャート部分) は全角 20 文字全てを表示します。
  - ・画面表示の右側 (表部分) で分析項目名が枠に収まらない場合は、マウスを近づけることでポップアップを表示し、分析項目名を表示します。
  - ・出力時にレーダーチャート部分は出力位置を調整、表部分はフォントを調整して分析項目名 (最大 20 文字) を出力します。
- ②「交叉主義比率」の計算方法を変更しました。  
※計算式を変更していない場合でも、従前のプログラムと計算結果が異なる場合があります。  
詳細は 8 ページを参照ください。
- ③算式内で使用している「延べ従業員数」の計算方法を変更しました。  
※詳細は 8 ページを参照ください。

## 8) 業種別レーダーチャート

- ①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました。
  - ・従前の画面表示の表示方法ではフォントが小さくなりすぎる為、フォントサイズ等を大きくしました。
  - ・画面表示で右側（表部分）の列幅を変更可能にしました。  
変更した列幅は保存し、次回起動時に変更した列幅で表示するようにしています。  
※変更した列幅は出力には反映しません。
  - ・画面表示の左側（レーダーチャート部分）は全角 20 文字全てを表示します。
  - ・画面表示の右側（表部分）で分析項目名が枠に収まらない場合は、マウスを近づけることでポップアップを表示し、分析項目名を表示します。
  - ・出力時にレーダーチャート部分は出力位置を調整、表部分はフォントを調整して分析項目名（最大 20 文字）を出力します。
- ②算式内で使用している「延べ従業員数」の計算方法を変更しました。  
※詳細は 8 ページを参照ください。

## 9) 前期対比レーダーチャート

- ①分析表集計科目登録の改良に伴い、当業務で出力している分析項目の項目名、計算式について、分析表集計科目登録の内容を参照するようにしました
  - ・従前の画面表示の表示方法ではフォントが小さくなりすぎる為、フォントサイズ等を大きくしました。
  - ・画面表示で右側（表部分）の列幅を変更可能にしました。  
変更した列幅は保存し、次回起動時に変更した列幅で表示するようにしています。  
※変更した列幅は出力には反映しません。
  - ・画面表示の左側（レーダーチャート部分）は全角 20 文字全てを表示します。
  - ・画面表示の右側（表部分）で分析項目名が枠に収まらない場合は、マウスを近づけることでポップアップを表示し、分析項目名を表示します。
  - ・出力時にレーダーチャート部分は出力位置を調整、表部分はフォントを調整して分析項目名（最大 20 文字）を出力します。
- ②算式内で使用している「延べ従業員数」の計算方法を変更しました。  
※詳細は 8 ページを参照ください。

以上